

えちぜん 議会たより

vol.
72
2023.5.1



越前町

人と技
海土里織りなす
快適なまち



「海と桜と笑顔」 越前岬水仙ランド（四ヶ浦こども園）

目次

第1回臨時会・3月定例会報告	2P～5P
議員6人が一般質問	6P～11P
全員協議会での当初予算質疑	12P～13P
3月定例会現場踏査	14P
自治功労賞受賞	14P
出欠状況・表紙の写真	15P
がんばってます！・編集後記	16P



「バスさん、ありがとう」（バスとのお別れ）

第1回臨時会

会期／1月13日

補正予算

ふるさと納税推進事業委託

3億1,950万円(専決処分含む)
全国的なふるさと納税の需要の高まりやポータルサイトのリニューアルなどにより、ふるさと納税寄附額が増加したことから、返礼品に要する委託料を追加計上する。

保育所送迎バス安全装置設置

120万円

国の補助を受け、保育園送迎バスの園児置き去りを防止するため、令和5年4月から義務化される送迎バスの安全装置の設置に係る補助金を計上する。

補助金

20万円(1台)

送迎バス保有施設

6施設

出産・子育て応援給付金

1,456万9千円

国・県の補助を受け、妊娠前から出産・子育てまでを一貫して支援するため、相談支援の充実や出産・子育て応援給付金に係る費用を計上する。

支給対象者

- 令和4年4月1日から令和5年3月31日までに届出を提出した妊婦および産婦
妊娠届出時：面談、5万円の経済的支援
妊娠 期：面談、5万円の経済的支援
出産、産後：面談、5万円の経済的支援

令和4年度 補正予算

生活交通路線維持支援補助

889万7千円

路線バス利用者の減少に加え、燃料高騰により運行経費が増加したため、運行維持に要する補助金を追加計上する。

有害獣捕獲謝礼

360万円

ニホンジカ・イノシシなど有害獣の捕獲が増加したことにより県の補助を受け、捕獲謝礼金および埋設手数料を追加計上する。

橋梁補修工事

892万円

橋の床板が剥離し橋台の補強材が損傷しているため、国の補助を受け、補修工事を追加計上する。

地域公共交通の活性化

令和5年度 当初予算

1億7,691万5千円

町内の公共交通手段を確保するため、コミュニティバスやデマンドタクシーを運行する。

スクールバス安全装置設置

160万円

県の補助を受け、小中学校のスクールバスの置き去りを防止するため、スクールバスの安全装置の設置に係る補助金を計上する。

第1回臨時会に提出された議案等

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 議決の結果. Includes items like 承認第1号, 承認第2号, 議案第1号.

また、路線バス維持のための事業者支援をはじめ、高齢者運賃や通学定期券購入の補助を行い、町内の公共交通の運行維持と利用促進を図る。

ふるさと納税の推進

1億3,931万2千円

ふるさと納税ポータルサイトにより寄附の呼びかけを行い、寄附者への返礼品として地場産品等を贈呈することで、地場産品の振興、地域経済の活性化を図る。

特産品開発の推進

490万円

令和3年度から地域の若者グループ「TEAM越前夢おこし」が栽培している「オリーブ」の特産化に向け、取り組みを支援する。

地域交流施設整備

1,955万8千円

朝日地区の賑わいの創出に加え、地域や商工業者の交流により地域活性化を図るため、コミュニティの拠点となる「地域交流施設」を建設する。

マイナンバーカードの普及促進

1,948万円

郵便局への業務委託や申請書自動作成システムを導入して事務の効率化を進め、引き続きマイナンバーカードの取得促進とDX化を図る。

令和4年度末カード申請率：約80%

3月定例会

会期／3月3日～17日

令和4年度 補正予算

専決処分の承認

Table with 2 columns: 一般会計, 議案番号. Includes 承認第5号, 承認第3号.

Table with 2 columns: 一般会計, 議案番号. Includes 承認第5号, 承認第3号.

条例

越前町税条例の一部改正について

固定資産税に設けられている前納報奨金制度について、社会情勢の変化に伴い納付方法も多様化し、納税者の利便性および自主納付に対する意識も向上したことから、本制度を廃止するため、条例の一部を改正する。

【適用】令和5年4月1日

越前町国民健康保険条例の一部改正について

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険税の後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額を、20万円から22万円に引き上げる。また、軽減措置の対象となる世帯の軽減判定所得基準額を引き上げるため、条例の一部を改正する。

【適用】令和5年4月1日

越前町勤労青少年ホーム条例の廃止について

社会情勢の大きな変化に伴い、勤労青少年ホームの設置意義が薄れ、また、施設の老朽化も著しいことから、越前町勤労青少年ホームの用途を廃止するため、条例を廃止する。

【適用】令和5年7月1日



勤労青少年ホーム

子ども・子育て支援

214万9千円

「第3期子ども・子育て支援事業計画策定」にもなうニーズ調査のほか、子どもの遊び場の整備にもなう保護者へのアンケート調査、検討会を行う。

結婚新生活支援

230万円

少子化対策のため、新婚夫婦の新生活にかかる住居費等の一部を補助する。

結婚新生活支援(住宅取得費等補助)

230万円

対象者：共に39歳以下の新婚夫婦で、合計所得が500万円未満

子ども医療費助成

6,900万円

小学校1年生から高校3年生相当の子どものに要していた保険適用医療費の自己負担額を町が負担し、無償化する。

妊娠・出産支援

599万7千円

乳児期の子育て世帯に対し、紙おむつや粉ミルクなどの購入費用を助成することにより、経済的負担を軽減し、安心して子どもを産み育てることが出来る環境をつくる。

商工業振興補助

1,829万7千円

町内商工業事業者の育成と産業の活性化を図るため、各種団体や事業者へ補助する。

越前焼産地の振興

1,305万6千円

越前焼の利用促進や若手後継者の育成に加え、北陸新幹線県内開業に向けた販路拡大に取り組むとともに、福井県や丹南の伝統工芸産地と連携し、越前焼産地としての振興を図る。

北陸新幹線開業に向けてのPR

125万円

今年秋に開催される「※全国宣伝販売促進会議」に参加し、本町の魅力を広くPRして、北陸新幹線県内開業後の誘客に繋げる。

※旅行会社やJ.R、マスコミを対象に観光素材の紹介や現地視察を行い、北陸への旅行商品の造成や販売を働きかける会議

冬期間における道路の安全

1億6,254万2千円
 消雪装置の適正な維持管理のほか、町保有の除雪機械の管理や除雪作業を委託し、冬期間の安全な道路交通を確保する。

■消雪ノズルの取替
 ■除雪ドーザ、小型ロータリー除雪車購入

Uターン者受け入れ支援

335万6千円
 若者の県内での就職を支援し、Uターン者や町内大学卒業生等の移住定住の促進を図る。

■Uターン移住就職支援補助
 ■地元大学等卒業生就職支援補助

空き家等対策支援

事業拡充
 2,429万5千円
 空き家の利活用や除却を促進するための補助制度を充実させる。住まい支援や片付け支援等の補助制度とも連携しながら、空き家・空き地情報バンクを活用し流通の促進を図る。

定住化促進奨学金返還支援

新規事業
 10万円
 奨学金の貸与を受けて大学等で修学後、町内に居住し定職した人に対し、奨学金返還額の一部を支援し定住促進を図る。
 補助額：年間（12ヶ月分）の上限は20万円
 5年間で最大100万円
 令和6年度から給付予定

児童等への細やかな支援

1億4,887万2千円
 各小学校には講師や各種支援員を配置し、児童へのきめ細やかな支援に取り組む。

各中学校にはさらに、部活動指導員のほかスクールカウンセラー等も配置するなど、教育相談体制の充実を図る。

国際交流の推進

441万7千円
 姉妹都市の福岡県みやま市との相互児童交流や、姉妹都市（モンテパロ市）の青少年の海外派遣、招聘などを積極的にを行い、グローバル社会に対応できる人材を育成する。

生涯スポーツの振興

252万5千円
 スポーツの振興や競技力向上を目指すため、県大会等の予選会を経てブロック大会規模以上の大会に出場する場合に、激励金を交付する。
 交付額：ブロック大会 5,000円
 ……全国大会 10,000円等
 （1人当たり）

学校給食費の無償化

事業拡充
 5,453万9千円
 保護者の経済的負担を軽減し子育てを支援するため、町内小中学校の2・3学期の給食費を無償化する。

人事

越前町教育委員会教育長の任命について

次の方の任命について、全会一致で同意した。
 出口俊一 氏（栃川）

越前町教育委員会委員の任命について

次の方の任命について、全会一致で同意した。
 藤澤春和 氏（天室）

越前町固定資産評価審査委員会委員の選任について

次の方々の選任について、全会一致で同意した。
 孝久 忠央 氏（西田中）
 橋詰 盛雄 氏（小曾原）
 小酒 春樹 氏（高佐）
 菅原 秀雄 氏（織田）

議員発議

越前町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律に伴い、個人情報の保護に関する法律が改正され、令和5年4月1日から施行される。しかし、この法律は地方公共団体の執

行機関には、直接適用されることとなるが、地方議会は、同法の適用対象外となることから、自立的な対応に委ねることとされた。

本町議会においても、必要な措置を講じなければならないと考えられるため、本案を提出。全会一致で可決した。

一般質問の映像配信をスタート

議会本会議は、これまで議場や本庁ロビーで開催時間に傍聴することができましたが、町民の皆さんに開かれた議会を目指すため、令和4年12月定例会から丹南ケーブルテレビによる録画放送のほか、越前町公式YouTubeチャンネルでの映像配信をスタートしています。今後の丹南ケーブルテレビでの放送予定日は、定例会（3・6・9・12月）の開催月のケーブルテレビガイドでお知らせします。また、越前町公式YouTubeチャンネルは、「越前町議会」で検索、または議会だよりの「各議員の一般質問」の上部にあるQRコードをスマホ等で読み取ることで視聴することができます。



3月定例会に提出された議案等

議案番号	件名	議決の結果
報告第1号	専決処分の報告について (和解及び損害賠償額の決定について)	報告のみ
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて (令和4年度越前町一般会計補正予算(第15号))	全会一致承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて (令和4年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算(第5号))	〃
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて (令和4年度越前町集落排水事業特別会計補正予算(第4号))	〃
議案第2号	越前町個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	全会一致可決
議案第3号	越前町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	〃
議案第4号	越前町ふるさと再生寄附条例の一部改正について	〃
議案第5号	越前町税条例の一部改正について	〃
議案第6号	越前町国民健康保険税条例の一部改正について	〃
議案第7号	越前町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	〃
議案第8号	越前町子ども・子育て会議条例の一部改正について	〃
議案第9号	越前町国民健康保険条例の一部改正について	〃
議案第10号	越前町勤労青少年ホーム条例の廃止について	〃
議案第11号	令和4年度越前町一般会計補正予算(第16号)	〃
議案第12号	令和4年度越前町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	〃
議案第13号	令和4年度越前町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	〃
議案第14号	令和4年度越前町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第15号	令和4年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算(第6号)	〃
議案第16号	令和4年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	〃
議案第17号	令和4年度越前町集落排水事業特別会計補正予算(第5号)	〃
議案第18号	令和4年度越前町温泉事業特別会計補正予算(第3号)	〃
議案第19号	令和4年度越前町上水道事業会計補正予算(第5号)	〃
議案第20号	令和5年度越前町一般会計予算	〃
議案第21号	令和5年度越前町国民健康保険事業特別会計予算	〃
議案第22号	令和5年度越前町介護保険事業特別会計予算	〃
議案第23号	令和5年度越前町後期高齢者医療事業特別会計予算	〃
議案第24号	令和5年度越前町簡易水道事業特別会計予算	〃
議案第25号	令和5年度越前町公共下水道事業特別会計予算	〃
議案第26号	令和5年度越前町集落排水事業特別会計予算	〃
議案第27号	令和5年度越前町温泉事業特別会計予算	〃
議案第28号	令和5年度越前町農林漁業体験実習館事業特別会計予算	〃
議案第29号	令和5年度越前町土地区画整理事業特別会計予算	〃
議案第30号	令和5年度越前町上水道事業会計予算	〃
議案第31号	令和5年度越前町国民健康保険病院事業会計予算	〃
同意第1号	越前町教育委員会教育長の任命について	全会一致同意
同意第2号	越前町教育委員会委員の任命について	〃
同意第3号	越前町固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃
同意第4号	越前町固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃
同意第5号	越前町固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃
同意第6号	越前町固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃
発議第1号	越前町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	全会一致可決
発議第2号	越前町議会の個人情報の保護に関する条例施行規程の制定について	〃



一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



高田 浩樹 議員

いっぱん質問

一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



吉田 憲行 議員



越前町が保有している土地の有効利用《時代に即した活用》

時代に即した活用方法を

吉田

アクティブランド運動場は、運動場としての利用は少なく「アクティブラウス越前」のイベント用駐車場としても利用されている。しかし、運動場は土であるため、雨天時には利用できない。

来年、北陸新幹線が敦賀まで開通するが、観光客の来町は今ままであり観光バスや家用車であると思われ、駐車場の確保が課題であるが、アクティブランド運動場を常設の駐車場にすればそれが解消でき、またイベントにおいても飲食・販売ブースに活用することができる。

地元の意見も取り入れながら、これからの時代に即した活用方法を考えることが必要だと思いが、町長の所見を伺う。

町長

本町の主要な観光拠点の一つであるこのエリアに駐車場を確保することは大変重要である。こうした観光ニーズと現在のスポーツ施設としての利用状況を踏まえ、駐車場の拡張を含めた改修を検討したい。

今後、地元の方やスポーツ団体などの意見も取り入れ、教育委員会と調整を図りながら、駐車場と運

動場という異なる需要に対応した土地の利用のほか、越波対策、財源の確保なども踏まえて協議していきたい。

スポーツ施設のあり方は

吉田

宮崎総合運動場は全天候型の陸上競技場ではあるが、走路が土でできているため公式大会の開催はできない。また陸上競技以外にも利用者が少なく、有効に利用されていない。スポーツが多様化するなか、少額の資金を投下し整備することで、様々なスポーツに活用できる競技場にできないか、町長の所見を伺う。

町長

宮崎総合運動場は、施設の維持管理費として毎年約150万円を要している。また、昨年末にはグラウンド中央部に陥没が確認され、表土も粘土質となっているなど施設全体の老朽化が進んでおり、これらを全て改修すると多額の費用を要することが想定される。

今後は、利用状況や町民のニーズの把握に加え、少子高齢化や人口減少といった現実的な問題と照らし合わせながら、町全体のスポーツ施設の在り方について検討していきたい。

越前町のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進について

DX推進の意義は?

高田

DXとは、デジタル技術を用いることで、大きな変容を起こしていくことであるが、本町におけるDX推進の意義について、町長の見解を伺う。

町長

DXの推進の背景には、労働人口の減少、住民ニーズの多様化、複雑化する行政業務などがある。

DX推進の意義には、デジタル技術やデータの活用などにより、住民に対して行政サービスの利便性の向上を図ることにある。また、それとともに、職員の業務効率化により、人的資源を行政サービスの更なる向上につなげていくことも重要であると考える。

DX推進における組織体制は?

高田

本町のDX推進における組織体制について伺う。

総務理事

本町のDXは、令和4年度から「DX推進室」と名称を改め、各事業担当課と連携しながら推進している。庁内で横断的にDXを進められるよう、各課から「DX推進員」として選任するなど、組織体制の整備を検討している。

「システムの標準化・共通化」と「行政手続のオンライン化」は?

高田

法定DXともいわれている「自治体情報システムの標準化・共通化」「行政手続のオンライン化」について本町の現状を伺う。

総務理事

「自治体情報システムの標準化・共通化」とは、令和7年度までに自治体が使用する住民票など18業務において、国の策定する標準仕様書に準拠したシステムへの移行する業務である。現在、福井県丹南広域組合と連携し、令和7年度完成に向けて整備を進めている。

「行政手続のオンライン化」とは、行政の窓口手続をオンラインで行うことができるシステムである。現在、子育て関係15手続、介護関係11手続、被災者支援関係1手続、合計27手続について、町のホームページからオンラインで活用できる。令和5年度からは生涯学習センターなど、一部の施設においてオンライン予約を予定している。

越前町のDXの課題と対策は?

高田

本町のDXにおける課題と対策について伺う。

越前陶芸村の現在および今後の活用・花みずき炎ほの館について

越前陶芸村の新たな取り組みを

吉田

「越前陶芸村に遊びに行っても、気楽に食べる場所やショップも少なく、わくわく感がない」「長時間の滞在は子どもたちが飽きてしまう」といった意見をよく聞く。陶芸村のイベントに参加された方が、1日のうちで少しでも長くそこに滞在していただくために活性化施設が必要だと考える。そこで、大学生や料理専門学校生の実践の場として陶芸村を開放し、飲食・販売ブースの出展場所を提供してはどうか。

このすばらしい越前陶芸村を「ぜひ度訪ねてみたい」「また訪ねたい」と思われるような施設にしたいと思いが、町長の所見を伺う。

町長

越前陶芸村は県内で唯一、本町が誇る伝統工芸、越前焼の振興と発展には欠かすことのできない場所である。その陶芸村における長年の課題として、気軽に飲食ができる施設の不足が言われている。今後は、県内の大学や専門学校との連携によるサービスの提供といった柔軟な施設運用も必要ではないかと考える。

今後、陶芸公園の設置者である

県や指定管理者に、柔軟で効果的な施設の運用を働きかけていくとともに、陶芸村内の関係者と新たな取り組みについて協議をしていく。また、キッチンカーの誘致など町所有の土地の有効な活用方法を検討し、陶芸公園の活性化を図りたい。

炎ほの館を親しめる施設に

吉田

公共施設等総合管理計画では、「花みずき炎ほの館」の方向性は現状維持で、括弧書きで要検討と記されている。越前陶芸村内の施設であり、活性化の意味でも要検討と記されているのであれば、隣接のスポーツ広場やテニスコートも含め、何かできないのか。また、要検討とはどのような意味なのか。

町長

要検討の意味は、今後も用途変更や統廃合について継続して検討していくという意味で記載している。炎ほの館は屋内多目的運動場であるため、体育館とはまた違った利用方法も考えられ、現時点では具体的な案はないが、隣接するスポーツ広場を含めて、町民が親しめる施設にすることを目標に今後も検討を重ねていく。

DXの今後の展開は?

高田

本町におけるDXの今後の展開について町長に伺う。

町長

行政を取り巻く状況の変化に伴い、これまでの慣習による業務の進め方を、今一度見直すことが必要不可欠である。DXの推進は、これからの時代に対応するための業務改善における絶好の機会であり、組織全体で取り組んでいきたい。

本来の目的である住民生活をより良い方向に変化させることを忘れることなく、導入や維持管理におけるコストを鑑みながら、バランスのと

れたDXの推進を行っていきたい。

高田

今後、真に住民サービスの向上に寄与するところへの取り組みを重視し、個人に寄り添い、より良い地域社会の実現を目指していくためには、デジタル技術の有効活用が重要になると考える。

昨年の後半頃から現在進行で、日常のなかでも活用できるA-サービスが次々とリリースされている。いずれは、行政においても、このような技術を適切に活用していただけるようになることを期待したい。

議会においては、議員の皆さんとともに、議会のDX推進に努めていく。





一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



木村 繁 議員

町長 県内では、南越前町を除く16市町で表彰条例または規則を制定している。その中で、表彰状のみの授与が1市、表彰状と金品を授与することができる規定しているのが本町を含め14市町、表彰状と銀杯の授与は池田町のみである。銀杯の授与に關し確認したところ、特別な場合にのみ授与しており、最近では平成26年に授与したとのことであった。本町でも、過去の功労表彰で記念品を授与しており、現行の規則で他市町と同様の対応ができていない。なお、記念品には町内産業振興のため、越前焼などの町の特産品を授与している。

町長 南越前町では名誉町民条例を制定しているが、本町も表彰規則とは別に、越前町名誉町民条例の制定に取り組み考えはないのか、町長の所見を伺う。

木村 県内で14市町が同様の条例を制定しているが、受賞者がいない自治体もあることから、特別な位置づけであることがうかがえる。本町においても、これまでに規定がないために表彰できなかった方や今後表彰に値する方の輩出も予想されるため、制定については今後検討していく。

木村 町長のモットーであるスピード感を持って、条例制定について検討していただきたい。

いっぱん質問

一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



伊部 良美 議員



福井鉄道の1年定期券の廃止について

通学支援制度の見直しを

伊部 既に新聞にも掲載されているが、福井鉄道は先般、電気料の値上げや資材価格、労務賃金の上昇で増加する営業費用に対応し、安全運行を第一に安定したサービスを提供するため、割引率の高い通学の1年定期券を3月10日から廃止することとした。

町長 本町の高校生にも影響があるが、現在神明駅から越前武生駅までと神明駅から田原町駅までの区間の利用者は何人いるのか。

伊部 今回の1年定期券の廃止について、対象となる学生に対してどのような対策を考えているのか、町長の所見を伺う。

町長 現在の1年定期の購入額は、神明駅から越前武生駅間が9万3,510円で月額5,000円を超えた額の8



割を補助し、補助額は2万6,800円になり、個人の負担額は6万6,710円になる。令和5年度も同様に1年定期が購入できた場合、月額5,000円を超えた額の6割を補助し、補助額は2万1,000円になり、個人負担額は7万3,410円になる。

今回、1年定期が廃止になることから、6か月定期を年2回購入する方法が一番割引率が高い定期

になる。購入額は10万7,900円で補助額は2万8,700円、個人負担額は7万9,200円となり、前年比1万2,490円の負担増になる。一方で、町の補助額も本来ならば6,700円減額になるところ、1,900円の増額になる。同様に、福井方面の神明駅から田原町駅間も、個人負担額は1万4,350円の増、町の補助額も1,200円の増額になる。

今回の割引率の高い1年定期券の廃止は、個人の負担額だけでなく町の負担額にも影響を及ぼすことになる。今後は運行事業者が経営改善を目的に定期券の料金等を改定することは十分に考えられるが、現時点で通学支援制度の枠組みを見直すことは考えていない。

伊部 1年定期の購入ができる期限とその対象者について福井鉄道に確認したところ、現在の1・2年生の在校生は、令和5年3月9日まで1年定期を購入でき、3月9日に購入した場合の有効期間は、令和5年3月23日から令和6年3月22日の1年間になる。そこで、在校生の1・2年生に、その期日までに購入されるよう伝達や防災無線で知ら

町長 利用者への周知は、1年定期を廃止した運行事業者がその理由と併せて、購入期限などの必要な情報を示すなど、丁寧に進めていくべきことと考える。

伊部 新1年生は入学をしていないため1年定期を購入できないことから、6か月定期を購入した場合との差額を町が全額負担してはどうか。

町長 今年度、通学支援制度の見直しを行ったところであり、引き続き現行の枠組みで実施していきたい。本町の通学支援は制度見直し後も県内トップクラスの手厚い助成となっており、今後も越前町を担う子どもたちに継続した支援を行っていく。



越前町名誉町民条例の制定を

木村 表彰規則について、池田町の表彰条例では「表彰は、表彰状および銀杯を授与して行う」と定められ、永平寺町の表彰条例では、表彰者の選考の一つとして「公共の事業に対し私財を寄附し篤行顕著なる者」と定められている。これを本町の規則に取り入れ、功労表彰者の格付けにすることはできないのか。

町は感謝状を贈呈している。また本町を含め3市町では、内規により一定額以上の寄附をいただいた方に対しては、感謝状を贈呈している。規則の改正については、他市町の状況や過去の功労表彰者とのバランス、また近年寄附の大半がふるさと納税を活用していることなどから、これまでどおり一般寄附者に対しては感謝状の贈呈がふさわしいと考えている。

木村 南越前町では名誉町民条例を制定しているが、本町も表彰規則とは別に、越前町名誉町民条例の制定に取り組み考えはないのか、町長の所見を伺う。

町長 県内で14市町が同様の条例を制定しているが、受賞者がいない自治体もあることから、特別な位置づけであることがうかがえる。本町においても、これまでに規定がないために表彰できなかった方や今後表彰に値する方の輩出も予想されるため、制定については今後検討していく。

木村 町長のモットーであるスピード感を持って、条例制定について検討していただきたい。

成年後見制度について

成年後見制度とは、知的障害や認知症などによってひとり決めることに不安や心配のある方の意思決定を助け、生活や財産などの権利を守る制度のこと。

権利を守り、安心して生活ができる支援を

木村 認知症の方などを支える成年後見制度は、預貯金の管理、介護・福祉サービス利用契約の手続きなどを支援することを目的とし、弁護士などの専門職がその役割を担う。相談窓口となつて関係機関と連携を進める拠点は「中核機関」と呼ばれ、2021年で全体の48%に当たる836の自治体の中核機関を設置した。

そこで、成年後見制度の利用促進に向けた相談の流れや中核機関の位置づけ、行政としての普及啓発、今後の方向性について所見を伺う。

民生理事 平成29年に「成年後見制度利用促進基本計画」が策定され、そのなかで中核機関の設置が地方公共団体に義務づけられた。このことから令和4年に、福井市、勝山市、鯖江市、永平寺町、池田町、南越前町とともに中核機関「ふくい嶺北成年後

見センター」を福井市に開設した。ここでは、弁護士会や家庭裁判所、介護サービス等の関係機関とネットワークを構築し、相談支援や事例検討の実施、申立ての必要性や後見人候補者の検討を行っている。

相談の流れは、町が1次窓口となつて直接町民から相談を受け、中核機関は2次相談窓口として、困難事案や専門的な相談に対応している。

普及啓発活動として中核機関では、テレビなどでの広報活動やイベントを行い、町では、ケアマネジャーや民生委員などの関係者への説明会などを行っている。

身寄りがいないなどの理由で成年後見制度の申立てができない場合は、町長による申立てを行っており、また低所得者の方など申立て経費や後見人への報酬の支払いが困難な場合には、費用の助成も行っている。

本町の制度利用者は令和3年で62名おり、相談件数は増加傾向にある。町としては、認知症高齢者や判断能力が十分でない人たちの権利を守り、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、より一層制度の利用促進を図っていききたい。



一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



小松 高宏 議員

国県道の植樹ますの管理については、各地区から「作業中における損害賠償保険に加入できないか」「植木の二部を撤去してほしい」などの質問や要望が寄せられている。また県では、ボランティア活動である以上保険加入は難しいとのこと。町としても同様の見解である。今後とも地域での対応をお願いしたいと考えている。



国県道の植樹ますの管理については、各地区から「作業中における損害賠償保険に加入できないか」「植木の二部を撤去してほしい」などの質問や要望が寄せられている。また県では、ボランティア活動である以上保険加入は難しいとのこと。町としても同様の見解である。今後とも地域での対応をお願いしたいと考えている。

いっぱん質問

一部を抜粋して掲載しています。全文・映像をご覧になりたい方は、こちらをご覧ください。



中西 清 議員



奨学金による教育支援について

教育支援で若者の定住を

中西

岸田総理は、「異次元の少子化対策により長期的な少子化を歯止めにする」と表明しているが、有効な対策は見えていない。日本共産党は、その最も大きな要因は、親として子どもの将来の教育費の負担が大きいこととし、その大幅な軽減が最も重要であると政府に要望している。

そこで、町長が公約された教育支援策の「大学進学者に奨学金の無利子貸付け」「大学卒業後、町内に居住し県内企業に就職した場合の奨学金の返済免除」「新型コロナの影響により就学維持が困難になった学生に対しての就学支援」に対し、具体的な検討が行われてきたのか、町長の所見を伺う。

町長

国の制度を運用する「独立行政法人日本学生支援機構」は、平成29年度から経済的困難により進学を断念することがないよう、給付型奨学金事業の導入や無利子奨学金の貸与基準を満たす希望者全員が貸与を受けられるよう拡充するなど、学生の負担軽減に努めている。さらに、令和2年度から授業料・入学金の免除や減額など給付型奨学金

約半数が奨学金を受給

中西

現在、国や県から奨学金の支援を受けている学生の割合について把握されているのか。

町長

個人情報に当たり把握はできないが、日本学生支援機構の平成30年度の学生生活調査によると、奨学金を受給している昼間部の大学生の割合は、47.5%と約2人に1人であった。

町としては、新たな奨学金返還支援制度を活用することにより、若者が住み続けたくなる町をつくってきたい。

大学生の県内就職者へのフォローアップを

中西

現在、大学生の県内就職者への補助制度があるが、その制度の活用人数、制度の有無による影響はどうか。また、フォローアップは十分にされているのか。

町長

大学生の県内就職者の補助制度の活用人数は、「越前町地元大学等卒業生就職奨励金制度」で把握し

国道などの維持管理について

国県道の植樹ますの縮小および管理移管を

小松

宮崎地区では、国道365号などの美化活動を地区住民で年に数回行っているが、人口減少や高齢化などにより住民が主体となって活動していくことが困難になっていく。

そこで、国道および付帯歩道の維持管理を国や県の道路管理者に移管することや、ハナミズキ通りの植樹ますを縮小するなどの措置を講ずることはできないか。

町長

奉仕作業に関しては、各地区から「作業中における損害賠償保険に加入できないか」「植木の二部を撤去してほしい」などの質問や要望が寄せられている。また県では、ボランティア活動である以上保険加入は難しいとのこと。町としても同様の見解である。今後とも地域での対応をお願いしたいと考えている。

商店街活性化施設の整備について

地域の特色を活かしたまちづくりの拠点施設を

小松

老朽化が進む勤労青少年ホームの跡地に複合施設を整備するが、施設の必要性と今後の計画について伺う。

町長

勤労青少年ホームの建て替えは、平成29年度から「商店街活性化拠点施設整備事業」として検討してきたが、来年度から「地域交流施設整備事業」として事業に着手する。

新施設には、多目的ホールや大小の会議室、商工会朝日支所などと共に、朝日コミュニティ運営委員会事務局も移転し、朝日コミュニティセンターとしても利用する。

「越前町公共施設等総合管理計画」では、町民が将来にわたり安全かつ安心して利用できる公共施設を提供することを前提とし、勤労青少年ホームは老朽化が著しいため、他の施設との統廃合により新たな拠点として再整備をするものと位置づけ、必要性を検討することとされている。

今回の施設整備は単なる建て替えではなく、地域コミュニティの活動や商工業の拠点として、多機能に活用する施設であり、利用者が多い越前町生涯学習センターで定期利用が確保

ており、平成27年度から令和3年度までに延べ100人の方が利用し、町内外で就職している。

制度の有無による影響に関しては、当制度は町内に住み、県内企業で定職することが制度の要件となることから、本町への定住促進に繋がっているものと考えている。

今後は、現況や制度を利用された方に意見を聞くなど、フォローアップを行い、さらなる制度の周知を図り、活用を促すことで就職や定住を促進していきたい。

中西

奨学金の返還支援については、令和2年度から国の特別交付税措置が拡充され、全国36都道府県615の市町村で既に実施される国のホームページでも公開されている。自治体によっては、大学だけでなく高専や専門学校、高校の卒業生まで対象にしているところもあり、制度の充実によって若者の地方定着が進めば、地域の活性化、長期的な税の確保も見込める。

本町の人口減少を食い止めるためには、将来の教育への負担が少しでも軽減され、町内で安心して子どもを産み育てられる環境づくりが重要であるため、真剣に取り組んでいただきたい。

できない団体にも活動の場を提供できるなど、必要性も十分に認められる。また、施設規模はコンパクトにし、現在の勤労青少年ホームと朝日コミュニティセンターとを併せた施設面積を比較しても、床面積の削減が30%を上回っており、総合管理計画の方針に沿った施設整備である。

小松

これまでにない新しい形の複合的な施設であるが、施設を最大限に活かすため、どのような活用を考えているのか町長の所見を伺う。

町長

朝日コミュニティ運営委員会や地域のコミュニティ活動に活用し、賑わい創出と活力の向上を図っていきたい。また、事業者のビジネス交流や情報交換、テレワークなどにも利用し、町内の経済活性化に繋がることが期待されている。さらに、今後の長期的な視点では集落が自前の集会施設を持たず、地区の会議や行事など必要な時にこの施設を利用していくことも考えられる。このように、地域の特色を活かしたまちづくりの拠点として活用していきたい。

※全員協議会での質疑応答の一部を抜粋して掲載

伊部議員 企画費の施設案内看板整備工事の150万円は、どこに設置する看板なのか。

総務理事 剣神社周辺の施設案内板で、10基の看板を整備する予定である。

入湯税の適正な徴収を

佐々木議員 越前地区で、宿泊者等から入湯税を取っている旅館や民宿が21件ほどあるそうだが、今年度の入湯税収が少ないのでは。来年度は、入湯税の捉え方や収納の仕方などについて、しっかり検証させてもらおう。

副町長 税務課は町政の基幹となる業務であることから、組織を強化するとともに、取り組みが進んでいるあわら市や坂井市などに職員を派遣し指導を受けるなど、入湯税が適正に納付されるよう努めたい。

猿の捕獲について

木村議員 猿の捕獲について、町民の方から相談を受けたが、対応できないか。

産業理事 猿の捕獲については、その群れの中で、悪質性のある猿しか捕獲できないということになっている。

猿は、誰も追いかけていないことが分かります、そこに繰り返し出没する習性を持っているので、追いかけていた方がいい。役場においても猿害用の花火があるので、お困りであれば相談いただきたい。



月曜定休日の若竹荘の現状は

北島議員 若竹荘は去年から月曜日を定休日としたが、その後の利用状況等は。

農林水産課長 今年の支出は令和3年度と比較して100万円以上の削減が見込まれているが、令和5年度については、燃料費が高騰しているので予算は36万円の減額となっている。

利用者については、約1,000人減っている。

オリーブの特産化に向けて

吉田議員 越前町には、越前水仙など数多くの特産品があるのに、今後「オリーブ」を使った町の特産品を作る計画を進めていくのか。

総務理事 「TEAM越前夢おこし」というまちづくり団体が、オリーブを使って特産品を作っていきたいという話があり、団体へオリーブの苗木の購入費用などについて支援することになった。令和4年度は約1千万円の予算を計上したが、令和5年度は、前年度の実績も踏まえ、実態で進めていく内容で予算を計上した。

吉田議員 予算については毎年検証し、費用対効果も考慮しながら進めていってほしい。



オリーブ植樹の様子（茂原）

除雪車位置情報システムの利便性は

高田議員 今年度から「除雪車位置情報システム」を使用していると思うが、運用状況や利便性について伺う。

都市整備課長 除雪車70台に位置情報システムを導入した。このシステムのGPS情報から除雪車の現在の位置の把握や走行軌跡の確認ができ、住民の方からの問合せや苦情などにも速やかに対応することができるようになった。

部活動の地域移行について

高田議員 今後の部活動の地域移行に関して、「部活動地域移行検討委員会」でどのような検討をしているのか、今後のスケジュール等について伺う。

学校教育課長 検討委員会には、町のスポーツ協会や各種競技団体の代表者、学校関係者などのメンバーを考えている。

協議の内容は、令和5年度に実施する合同部活動での課題の洗い出しや休日活動の受け皿となる競技団体の人材の確保、保護者等への経済負担のほか、今後の方向性について検討していきたい。

今後のスケジュールは、国の方針では休日の部活動から段階的に地

結婚祝品の推移は

高田議員 結婚祝品の近年の推移について伺う。

民生理事 結婚祝品は、婚姻届を越前町に提出され、かつ3年以上本町に住む意思のある夫婦に2万円分の町の商品券をお渡ししている。その対象となった夫婦の数は、平成29年度は32件、平成30年度は28件、令和元年度は33件、令和2年度は32件、令和3年度は22件、そして今年の2月末時点では26件である。



子どもの遊び場整備計画について

木村議員 子どもの遊び場整備計画について、スケートボードの整備を希望する町民がいるが整備することは可能か。

民生理事 この計画は県の事業で、保育園児や小学校低学年を対象とした全天候型の遊び場を整備することになっている。今年度から町民の意見を伺いながら検討していきたい。そういった意見があれば案としてまとめていきたい。

地域ふれあいサロンの利用者の推移は

木村議員 近年の地域ふれあいサロンの利用者の推移について伺う。

介護福祉課長 ふれあいサロンは、町が支援し越前町社会福祉協議会が実施している事業で、各集落の集会所で、健康チェックや健康相談等を行っている。

令和3・4年度に関してはコロナの影響もあり、例年より開催件数、利用者が少なくなったが、令和3年度は34か所で221回開催し、3,141人が参加した。令和4年度はコロナもやや終息に向かっているため、4,000人の参加を目標に頑張っていきたい。

旧おむすびチェーンの今後は

佐々木議員 何回も協議を重ねた上で、旧おむすびチェーンの施設の解体設計委託にかかる予算を計上したと思うが、解体後の土地の活用方法について伺う。

商工観光課長 現時点では、施設解体後の土地の活用方法は未定である。今後活用方法を十分検討していきたい。



タブレット端末を使用している当初予算の審議

議会・委員会・一部事務組合等議員出欠状況

12月10日～3月17日

○…出席 ×…欠席 △…遅刻・早退

月日	曜日	会 合 名	笠原 議長	佐々木 副議長	小松 議員	吉田 議員	石田 議員	長谷川 議員	中西 議員	高田 議員	藤野 議員	米沢 議員	伊部 議員	木村 議員	北島 議員
12	16	金 議会活性化特別委員会(タブレット研修)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4	水 議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10	火 議会広報特別委員会	-	-	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-
	10	火 議会活性化特別委員会(タブレット研修)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1	13	金 議会運営委員会	○	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○	○
	13	金 第1回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18	水 議会広報特別委員会	-	-	○	×	○	○	○	-	○	○	-	-	-
	23	月 議会活性化特別委員会(タブレット研修)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	27	金 議会運営委員会	○	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○	○
	6	月 議員月例会	出張	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	月 議会活性化特別委員会(タブレット研修)	出張	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	10	金 鯖江広域衛生施設組合議会全員協議会・定例会	-	○	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-
	14	火 鯖江・丹生消防組合議会全員協議会・定例会	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○
	16	木 公立丹南病院組合議会全員協議会・定例会	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-
	20	月 県丹南広域組合議会全員協議会・定例会	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○
	21	火 議会活性化特別委員会(タブレット研修)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	21	火 議会運営委員会	○	-	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○
3	1	水 議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3	金 3月定例会 本会議(1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	月 3月定例会 本会議(2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	月 議会活性化特別委員会(タブレット研修)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7	火 3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	水 3月定例会 本会議(3日目)・全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9	木 3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10	金 3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13	月 3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	火 3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15	水 3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16	木 3月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17	金 3月定例会 本会議(4日目)	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17	金 議会広報特別委員会	-	-	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-

3月議会定例会 現場踏査 (3月8日)



上野蝉口線 道路改良工事

冬期間の安全な道路交通を確保するため、道路の拡幅工事を行う。

- 事業費 1,480万円
- 道路改良工事費、建物補償費、町道用地購入費等



県営防災ダム整備事業

(八田地区開谷防災ダム)

水管理制御システムは25年が経過し、老朽化が著しいため更新する。

- 事業費 500万円
- ダムを管理する水管理制御システムを更新



内の宮団地跡地整備工事

内の宮団地全戸の解体が完了し、借地返還のため令和5年度は跡地整備工事を行う。

- 事業費 3,000万円
- 整備工事費、電柱等移転補償費



表紙の写真 四ヶ浦こども園(梅浦)
 (上段写真)桜を探して水仙ランドに行ってみました。桜が見えると「きれい」「見てみてこっちはあるよ」と大興奮でした。バスを降りて探検しながらこの場所にたどり着くと、海が遠くまで見えて「すごい海って大きいな」と目を輝かせていました。近くにこんないい所があったことを再発見です。
 (下段写真)園バスが新車と入れ替えになるので、これまでのバスとのお別れ会をしました。いろいろな所に連れて行ってくれたピカチュウバスに感謝しながらキレイに洗車しました。
 「ここの汚れてる」「タイヤもキレイにしなあかん」「ピカチュウバスありがと」「バイバイ元気でね」と心を込めながらバスを磨いていました。泡で洗うのも、ホースで水かけも、乾いたタオルで拭いてあげるのも一つ一つが楽しく、終始笑顔でした。



表紙の写真 四ヶ浦こども園(梅浦)

広報特別委員会では、見やすい紙面づくりを目指し「議会だより」のリニューアルに取り組んでいます。市民の皆さんにご意見をお聞かせいただき、今後の編集に反映し、議会に関心を持って読んでいただけるよう努力してまいります。
 ご意見は議会事務局までお願いします。

あなたのご意見をお聞かせください

議会事務局
 TEL 0778-34-8712
 FAX 0778-34-8726
 メールアドレス
 gikai@town.echizen.lg.jp



自治功労受賞

3月定例会終了後、全国町村議会議長会自治功労賞の表彰伝達式が行われました。

議会議員15年以上在職者

笠原 秀樹 議長

地方自治の振興発展に大きな役割を果たされてきたことに敬意を表します。





自己紹介をお願いします
2018年に越前地区と織田地区の学童野球チームが合併し、現在小学1年生から5年生までの14名が、織田中央公園グラウンド等で、毎週火・水・金・土・日曜日に練習しています。



Interview activities



今後の目標について
練習では、学年に合わせた丁寧な指導してくださり、昨年初めて「全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント」の福井県大会で優勝し、全国大会では、憧れの神宮球場で試合をすることができました。今期の目標は県大会で優勝し、2連覇を達成することです。今年も目標に向かって一直線に、チーム一丸となって勝ち上がっていききたいです。



最後に一言お願いします

結成6年目で、まだまだ歴史が浅いチームですが、学童野球を通じて子ども達を盛り上げていきたいと思っています。

野球を一生懸命楽しみたい仲間を大募集しています。体験入部もできますので、お気軽にご連絡下さい！
(インタビュー) 米沢

お問い合わせ

米澤 信幸(会長)
090174815556

傍聴席へどうぞ 次の定例会は6月です

(日程については、議会事務局にお問い合わせください) TEL.0778-34-8712

2年間ありがとうございました



- 議会広報特別委員会
- 委員長 藤野 菊信
 - 副委員長 小松 高宏
 - 委員 米沢 康彦
 - 中西 清彦
 - 長谷川 眞恵
 - 石田 和朗
 - 吉田 憲行

編集後記
今年、コロナ感染症の規制が徐々に緩和され、町内の小中学校では「マスクなし」での卒業式が執り行われました。約3年間と長きに渡り規制がありました。以前の日常に戻りつつある事を感じ、1日でも早い収束を願うばかりです。
さて、私たち委員での「議会だよりの発行」は今回が最後となります。発行にあたり、ご協力いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。
(小松)

町ホームページ QRコード



(スマートフォン用)

町LINE QRコード



(スマートフォン用)

町公式動画チャンネル QRコード



(スマートフォン用)

バックナンバーは町のホームページでご覧いただけます

<http://www.town.echizen.fukui.jp/chousei/04/index.html>

町ホームページ 議会QRコード



(スマートフォン用)

QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です